

2019年1月度定例理事会・役員会合同議事録 ー速報ー

2019年1月26日(土) 16時00分 BWCチャペル

出席理事： 田井、木内、生木、井上、草深、小賀坂、小宮山、坂、佐野、志村、竹井、寺島、
櫛本、野村、橋本、檜垣、宮田、村岡、小倉(監事) 以上18名

委任状： 高橋(田井理事長に委任) 以上1通

欠席理事： 策畑、細田(監事)

会社役員会：(理事兼務以外) 児玉、新田見、光岡、角川、坂、井口、中島

事務局： 篠本、雪、松本

議長： 田井理事長

出席理事17名(16時00分現在)委任状1通をもって1月度理事会は成立。

出席取締役10名で(16時00分現在)取締役会も議決に必要な定足数充足。

前回11月理事会の議決事項、正副理事長選任と今後1年の理事会(合同会議)日程を確認。

1. 競技委員会(竹井委員)

2年間の活動方針について

- ・ 競技参加者の維持増加策は機能しているが、増減を常時モニターする。
- ・ 平日月例、赤ティー選手権もうまく機能し新規会員が増加しているので継続していく。
- ・ 新ルール移行に関し、公式競技への浸透・啓蒙活動、コース管理との連絡を密にしていく。
- ・ イベント委員会の活動のサポートと同委員会管轄のコンペへの積極参加。

役員会から男女クラブ対抗の目的・意義を今一度明確にしてほしい旨要請があった。

以前初参加の頃に予選を通過し脚光を浴びたが、その後竹井委員長就任前から順位は低い。成績の向上は、応援するメンバーの為にも必要だが、成績最重視のクラブもあり難しい面もある。しかし本年から、従来の弱点であった55歳以上が強くなるので、若手に期待し成績向上を目指せそう。女子の方が予選通過の可能性は高い。選手選考の公平性を重視し、強化会への参加等クラブへの貢献をしながら努力すればチャンスがあるということやっていきたい。

2. クラブライフ委員会(坂委員長)

2年間の活動方針について

- ・ 最近2年間に関しては各イベントともに沢山の方々の参加が有り低迷期を脱した。コミュニティ居住の人の参加もあり盛り上がっている。一方、ガゼボナイトを除きマンネリ感が否めず今後再構築が課題。
- ・ 現在行っているイベントは、5月の田植え、7月のプールサイドの夕べ、8月の稲刈り、9月のガゼボナイト、12月のクリスマスパーティー

1月の委員会開催報告

犬同伴ルールの改定について「コース内では、飼い主責任の元、リードを外すことを認め

でも良いのではないか」という意見があった。→理事等から多くの意見が出されたが、現在のカートから降ろさないというルールは和らげるとしてもリードを外すことは、犬の管理と犬の安全両面で難しいという意見が大勢を占めた。文言は事務局に一任するとして、「犬同伴プレーの場合には、リードを付ければカート外も可とするが、グリーン・バンカーに立ち入るのは厳禁」とすることに決定した。

3. グリーン委員会(村岡委員長)

2年間の活動方針について

- ・「自然を愛し、ゴルフライフを皆で楽しむ」をモットーに活動する。
- ・季節や自然を感じるグリーン委員会らしいコンペを開催。雛祭りオープンコンペ、七夕節旬のコンペ等
- ・植栽の見直し
- ・コース管理作業の見える化

1月委員会の報告

- ・2019年のコース管理概要についてコース管理の本吉キーパーから報告があった。
- ・スプリンクラー取水口にある距離表示が薄いことについて改善を要望した。

4. イベント委員会(井上委員長)

2年間の活動方針について

- ・委員会の現状に鑑み、過度な負担のない、継続可能な運営体制を構築する。具体的には開催イベントの取捨選択、イベント幹事業務の分担、開場記念のコンテンツ、作業分担の見直し、毎月の委員会の幹事業務の分担等
- ・今期の主な開催予定イベント

1月新年杯、2月全BWC親睦コンペ、3月委員会対抗戦、5月開場記念祭、9月2&1コンペ(ガゼボナイト)、11月コタローカップ、他に毎月のバースデーとりまとめ。

1月委員会の報告

上記活動方針と今年の開催予定イベントについて話し合った。本年出だしの新年杯は約100名の参加があり、盛況だった。

5. 広報委員会報告(宮田委員長)

- ・2年間の活動方針については2月開催の委員会で検討し次回報告する。
- ・広報については、現在フェイスブックやインスタグラムが使われている。
- ・ホームページの改修が完成した。
- ・紙媒体の必要性について以前にも検討したが、現状メンバーは高齢者が多く紙媒体による広報は必要。→役員会からニュースレターの記事が競技結果に相当部分が割かれていてトピックスやミューヘッド・フィールドズのウエイトが低いように思うとの意見があった。→委員会としてはコミュニティーの方にも広報委員会があると聞いているので、連携を強めたい。

6. ジュニア委員会(橋本委員長)

2年間の活動方針について

- ・ブリックの将来を担うジュニアを育てる。
ブリックらしい明るさと品位を持ち、礼儀正しく思いやりのある子どもを育てる。
- ・ジュニア親族会員とのコミュニケーションを深める。
- ・親子コンペの開催。
- ・ジュニア競技会の開催。

1月委員会の報告

今後2年間の活動方針、8月に第1回親子コンペを開催、その他について話し合った。

7. ハンディキャップ委員会(志村委員長)

2年間の活動方針について

- ・クラブハンディキャップ査定、HPへの掲載、ハンディキャップボードの更新回付(毎月)
- ・新規クラブハンディ取得者の査定、特別査定(随時)
- ・クラブハンディキャップ、ターゲットスコア、コースレート、スロープレートの関連やクラブハンディキャップ規定の周知
- ・その他のテーマ(ジュニアティでのクラブハンディ等)

8. フェローシップ委員会(小宮山委員長)

2年間の活動方針について

- ・毎月のフェローシップ委員会コンペに新入会員を招き、クラブライフ・ルール・マナーを体験していただく。
- ・他の委員会との連携でミュアヘッド・フィールズとしてのプラスαの価値創造、自由でありながら時代に沿ったエチケット・マナーを確立。
- ・例年通り、年間を通じ強化月間を設定。

9. 会社からの報告

①ミュアヘッド・フィールズに関する事項

- ・住宅は164区画の内90区画が売れ65棟建っている。
- ・キャビン12室か16室の建設を予定している。
- ・日本における唯一の住宅一体型ゴルフ場を目指してきた。
- ・ミュアヘッド設計の世界のゴルフ場と組み、ミュアヘッドクラブの組成を考えている。
それには宿泊施設が必要。
- ・2番ホール中央右外のコミュニティーの土地に、打放のゴルフ練習場を作る計画について測量を行っている。
- ・ゴルフ場と練習場を行き来する通路については、費用6百万円程度の案と20百万円程度かかる案を検討している。
- ・キャビンや練習場も投資者を募る計画。→役員から練習場も通路も(株)高滝リンクス倶楽部の資金は使わない旨確認が有った。また理事からキャビンは現状の宿泊施設の代替えかとの質問が有り、違うと回答有り。

②最近の来場者数とゴルフ場売上

12月の来場者数は2,425人で前年比184名減少、ゴルフ場売上は2,634万円で前年比

281万円減少、9月から12月の通期では来場者数が10,143名で前年比341名増加だが、売上は10,456万円で、前年比49万円増加と略前年並みで、計画比では537万円の未達との報告があった。また、来場者の増加341名の内、年会費の高いSコースや入会金の必要なジュニア親族会員のプレー費無料の来場者を含んでいるので有料来場者数は362名減少との説明もあり、フードクーポン廃止の影響についてもコメントがあった。

③最近の入退会状況

12月の入会は4口4名で、1月も25日現在で4口5名の入会があり、期初来入会は21口25名となり、手続き中が5口7名あるので、今期目標の30口に近付いている。

④二人乗り乗用カート乗り入れ試行結果中間報告

昨年5月から実施の2人乗りカートのコース内乗り入れ試行の中間報告があった。5月から10月で、合計102日乗入れ可能日があり、86台が試行した。(10月はコースメンテナンス優先で乗り入れ可能日0なので、実態5カ月実施) 楽に回れる、高齢者でもプレー出来る、プレーが早いなど良かった点や、出入り地点が分かりにくい、乗り入れ禁止日の徹底が必要、との意見があった。

次回理事会は2月18日(月)19時00分より 場所未定 議長は田井理事長

次回合同会議は4月20日(土)16時00分より BWC チャペルにて